

関西学院大学主催

国連における人間の安全保障の深化と日本の貢献

冷戦後、安全保障の概念は発展し、人間の安全保障の重要性が指摘されるようになってきました。そもそも人間の安全保障とは何でしょうか、伝統的な国家の安全保障とは何がどのように違うのでしょうか。また人間の安全保障に日本はどのように貢献してきたのでしょうか。

本講演は、ニューヨークの国際連合、人間の安全保障ユニット課長の田瀬和夫さんより、人間の安全保障と日本の貢献についてお話いただきます。田瀬和夫さんは、外務省のキャリア職員として「人間の安全保障委員会」に携わり、委員長の緒方貞子氏（現JICA理事長）の片腕として働き、その後国連職員に転身しました。またこれまでも関学主催の国連セミナーで講師を務めてくださっています。

国際社会における人間の安全保障の意義とその発展、また日本の貢献について、田瀬さんのご経験を踏まえてお話いただきます。皆さんの積極的な参加を歓迎します。

日時 2009年3月23日（月）

14:30～16:00

場所 関西学院大学
西宮上ヶ原キャンパス
G号館326教室

参加自由、事前申込不要

問い合わせ先：国際教育・協力センター (0798) 54-6115

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



■講師■

田瀬和夫（たせ・かずお）

国際連合 人間の安全保障ユニット課長

1967年生まれ。東大工学部卒、同経済学部中退、ニューヨーク大学法学院客員研究員。1991年度外務公務員1種試験合格、92年外務省に入省し、国連政策課（92年～93年）、人権難民課（95年～97年）、国際報道課（97年～99年）、アフリカ二課（99年～2000年）、国連行政課（2000年～2001年）、国連日本政府代表部一等書記官を歴任。2001年より2年間は、緒方貞子氏の補佐官として「人間の安全保障委員会」事務局勤務。2004年9月より国際連合事務局・人道調整部・人間の安全保障ユニットに転任。2005年11月外務省を退職、同月より人間の安全保障ユニット課長。外務省での専門語学は英語、河野洋平外務大臣、田中真紀子外務大臣等の通訳を務めた。